





2-3 小倉都心地区のあかりの考え方(点・線・面)

2-1、2-2 で説明した視点や考え方に基づき、小倉都心地区の代表的な点、線を抽出しました。小倉都心地区の景観を形成する全ての施設が点の候補ですが、ここでは誰もがイメージしやすいような「夜間景観の重要な資源となるあかり」を例示しています。線は、小倉都心地区の主な回遊ルートとなるポテンシャルを持っているルートを例示しています。

また、地域の特徴を魅力的に表現し一体感のある夜間景観をつくるため、小倉都心地区を9つのエリアに分けてそれぞれにテーマを設けました。

■ 夜間景観の重要な資源となるあかり

-  施設やモニュメントなど
-  光の拠点
-  視点場(ビューポイント)
-  視点場(ビューライン)

■ まちの輪郭を描くあかりライン(主な回遊ルート)

小倉都心ライン

ミクニワールドスタジアム北九州と小倉城をつなぐ。歩行者や自転車を中心としたヒューマンスケールの照明が導き繁華街を縦走する。

小倉駅新幹線口ライン

九州の玄関口として、北九州の躍動感あふれるダイナミックな景観で迎える。










商店・市場ライン

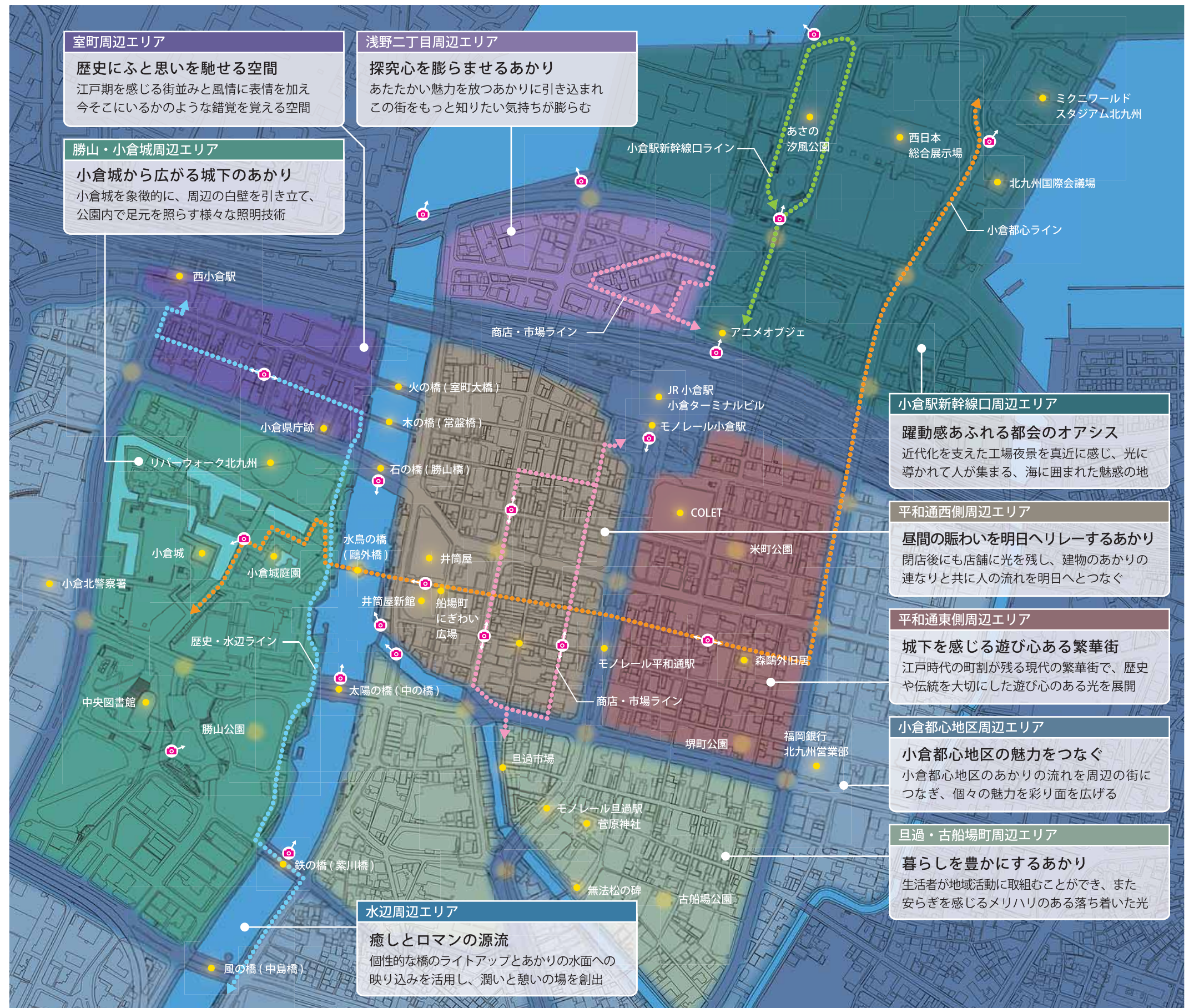
飲食店や商店が並び、昼間のにぎわいとは一味違う小倉の街の活気をダイレクトに感じる。

歴史・水辺ライン

旧長崎街道から紫川へと続く。歴史と現代のロマンチックな雰囲気郷愁を感じ、小倉への熱い思いが心に刻まれる。

■ 小倉都心地区の特徴的な9つのエリア

-  小倉駅新幹線口周辺エリア
-  平和通東側周辺エリア
-  且過・古船場町周辺エリア
-  浅野二丁目周辺エリア
-  平和通西側周辺エリア
-  水辺周辺エリア
-  室町周辺エリア
-  勝山・小倉城周辺エリア
-  小倉都心地区周辺エリア



第3章 魅力的な夜間景観の作り方

本章の上段では、第2章で設定したエリア毎にテーマに沿った夜間景観をつくるポイントを提案します。地域の特徴を活かすためにはどのような点に着目すればよいのか、一緒に考えましょう。

また、下段では夜間景観づくりに知っておくと便利な照明手法を紹介します。これらの照明手法は特定のエリアで使用する技術ではなく、様々なエリアで工夫しながら応用することで、魅力づくりに多くの可能性が生まれるあかりのヒントです。

3-1 小倉駅新幹線口周辺エリア



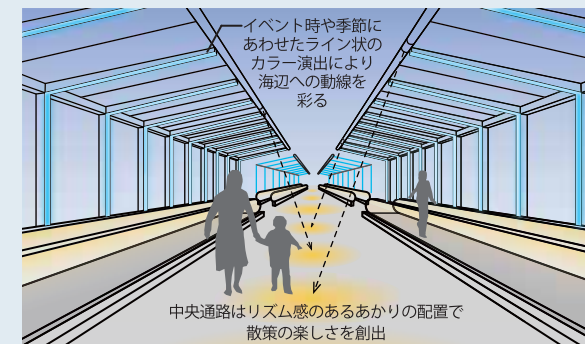
躍動感溢れる都会のオアシス

夜間も市民や来訪者が集まり、イベントやウォーキングなど市民がアクティビティを楽しむ憩いのスポットづくりを目指します。また、海辺から見える工場夜景は、見る人が心揺さぶられる特徴ある光景であり、その魅力を積極的に取り込むことが大切です。小倉駅新幹線口からつながるペDESTリアンデッキは1階と連続的につながる光を意識して各方面へつなげ、歩いてみたくなる景観照明が望まれます。



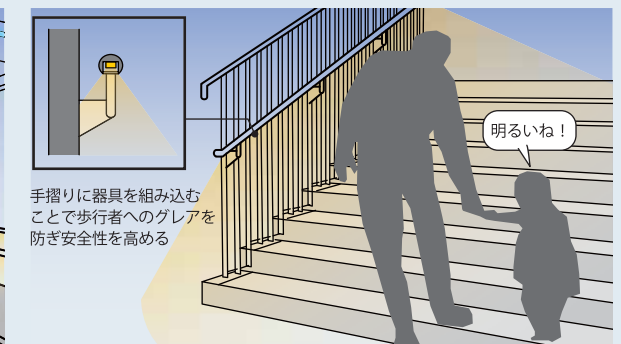
あかりの動線をつくる

■ 駅と海辺をつなぐ



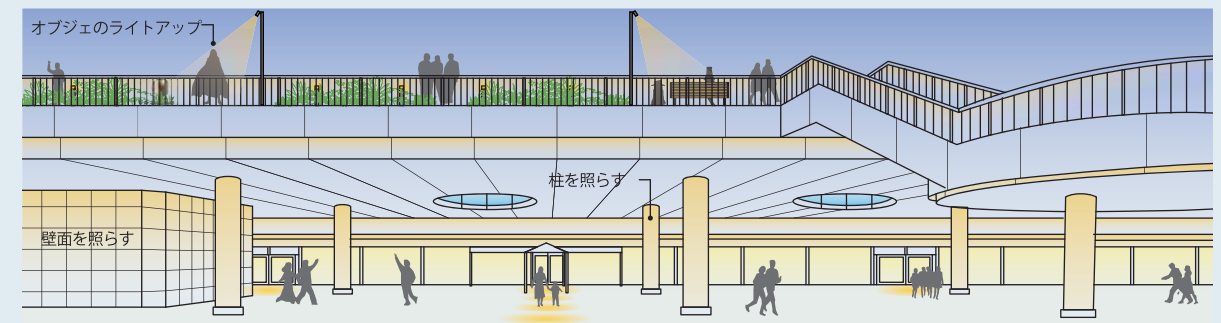
通路にリズム感のあるあかりを配置することで楽しい空間づくりをすることができます。

■ 安全につなぐ



ペDESTリアンデッキから1階へつながる階段の手摺りに照明を取り付けることで安全性を高めたり動線をつくるすることができます。

■ 駅の印象を高める

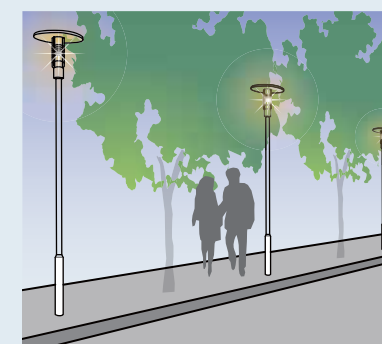


1階は壁や柱など鉛直面を照らすことで、来訪者が気持ちよく利用できる明るい空間を創出することができます。



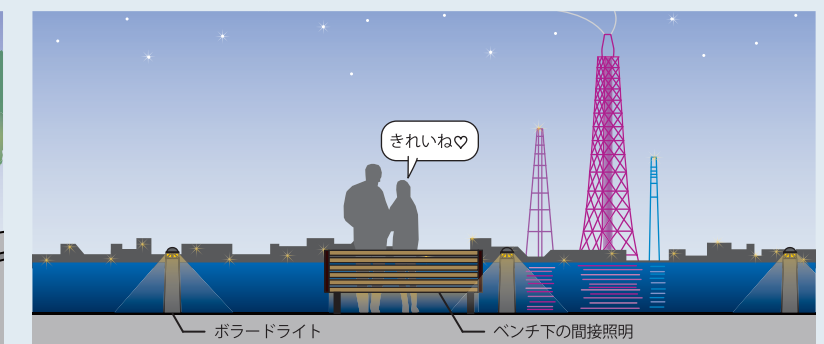
華やかさと落ち着きのあかり

■ にぎわいの演出



きらめきのある光を連続させることでにぎわいのある雰囲気を演出できます。

■ 落ち着きのある空間の演出



工場夜景を望める場所で足元を照らすボラードライトや、佇む場となるベンチなどにグレアの少ないあかりを配置すると、落ち着きのある空間を創出できます。